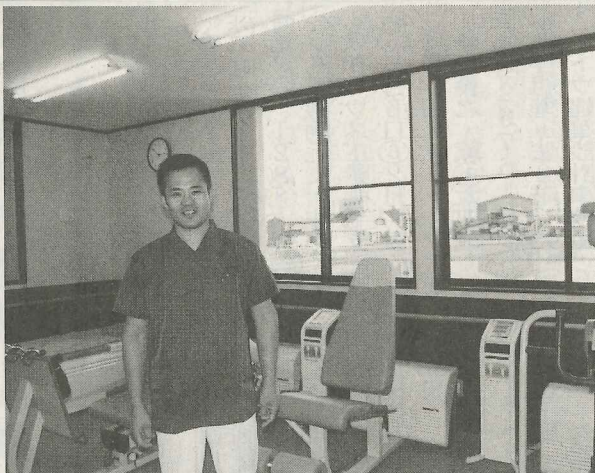


する。東京都健康長寿医療センターで考案された、CGT(包括的高齢者運動トレーニング)を採用したのが特徴。鍼灸接骨院ならではの施術も取り入れ、個別プログラムで無理なく筋力・体力の向上を図る。今月2日から14日まで体験内覧会を開いている。

既存建物を約100平方メートルの大改修・副部長が考案した、安全で効果が実証されたトレーニング法。CGTは同医療センター



日当たりの良いデイルームと岡田院長

使う人の筋力を測定した上で最適な負荷をかけ、筋力をアップする4種類のマシンと、個別プログラムでの運動により、筋力・バランス力・柔軟性を向上させる。



活の動作を円滑にする。合間に灸やマッサージ、ストレッチの施術も行い、血行を良くして運動効果を上げるほか、疲れを残さないようにする。運動や施術の合間には、休憩やおしゃべりでくつろげるよう、喫茶コーナーも設置した。

指導は、脳卒中や認知症など高齢者に多い病気や、栄養、失禁予防、口腔ケアなどの健康管理について研修を受けた介護予防運動指導員が中心に担当する。オカダでは柔道整復師

既存建物を増築して設置

知症など高齢者に多い病気や、栄養、失禁予防、口腔ケアなどの健康管理について研修を受けた介護予防運動指導員が中心に担当する。オカダでは柔道整復師

新たに2社「くるみん」取得
育児支援でハートフル、鶴谷会

群馬労働局は、次世代育成支援対策推進法に基づき子育てサポート企業として、新たにNPO法人ハートフル(高崎市石原町、櫻井宏子理事長、医療法人鶴谷会(伊勢崎市境百々、鶴谷英樹理事長)を認定した。ハートフルは県内NPO法人として初めて、鶴谷会が県内医療法人として初めての認定。県内認定企業は計12社となった。

群馬労働局は、次世代育成支援対策推進法に基づき子育てサポート企業として、新たにNPO法人ハートフル(高崎市石原町、櫻井宏子理事長、医療法人鶴谷会(伊勢崎市境百々、鶴谷英樹理事長)を認定した。ハートフルは県内NPO法人として初めて、鶴谷会が県内医療法人として初めての認定。県内認定企業は計12社となった。

「ゲートキーパー」養成講座が各地

NPOが各地

NPO法人メンタルヘルス・ネットワーク(高崎市上大類町、新井政信理事長)は6月から、ゲートキーパー養成講座を開始した。ゲートキーパーとは自殺の恐れのある人に付き、声掛けや傾聴を行い、相談窓口につなげたり、見守っていく役割を担う人材。同ネットワークは昨年からの養成講座を開始し、以上がゲートキーパーとして活動している。講座は3者には同ネットワーク認定する「初級」修了者。参加費はキスト代。は次の通り

▽7月7日 労働館(同

保育者・教育者に求められるもの

高崎健康福祉大学
新学部開設記念シンポ

高崎健康福祉大学(高崎市中大類町、須藤賢一学長)は6月30日、人間発達学部開設記念シンポジウム「いま保育者・教育者に求められるもの」を開催。大学はどのような役割を担っているのか、

環境の中で、さまざまな体験を積んでほしい」と訴えた。上越教育大学の若井彌一学長は、「良い生活習慣を一日一日蓄積して、4年間で絶大な力になる」とすぐに役立つ知恵を伝授した。

県社会福祉総合センター(前橋市新前橋町)

靴など多岐にわたる。トイレや洗面、浴室等

個人では、「退院の期が迫っている。介護がその場で可能。

約半